

ホクレン農業協同組合連合会 行動計画

女性職員がより活躍することができ、働きやすい職場環境の整備を行うために、次のように行動計画を策定いたします。

1. 計画期間

2019年4月1日から、2022年3月31日までの3年間（第二期）

2. 本会の課題

2016年4月1日～3年間実施した行動計画第一期においては、総合職採用者に占める女性割合を直近5か年平均対比1.5倍以上とする目標を定めたものの、微増の1.2倍にとどまる結果となりました。

また、管理職全体に占める女性の割合は安定した水準を保っているものの、役職者に占める女性の割合は第一期期間を通じて減少傾向となりました。

一方、2018年には従来の「事務職」を「地域総合職」に名称変更し、個々人のライフスタイルに合わせた「総合職」と「地域総合職」の双方向の転換を可能としました。

第二期（2019年度～2021年度）においては、さらに女性職員の活躍を推進すべく、引き続き女性総合職の採用に力を入れつつ、教育・研修を通じた会内の意識改革や既存制度の見直しを進めて行く必要があります。

3. 目標と取組内容

【目標1】 総合職採用者に占める女性割合を、直近3か年平均対比1.5倍以上とし、総合職全体に占める女性割合の向上に努める。

〈対 策〉 2019年4月～

① 求職者に対する積極的な広報の展開を行う。

※ 採用ホームページに福利厚生制度の特設ページを作成する。

② 各種階層別研修において、コース転換制度の周知を図る。

【目標2】 女性の平均勤続年数の引き上げや、働きやすい職場環境の整備に努める。

〈対 策〉 2019年中から順次実施

① 産前・産後休業や育児休業に関わる福利厚生の実施に向けた検討を行う。

② 女性総合職員を対象とした研修の実施について検討を行う。